

事業承継計画書

社名		株式会社 群馬機構			後継者		赤城 一郎	
基本方針	[基本方針]	<ul style="list-style-type: none"> ・赤城太郎から、長男一郎へ親族内承継。 ・3年目に社長交代。(代表権を一郎に譲り、太郎は会長に就任。5年目に完全に引退。) ・5年間のアドバイザーを税理士と弁護士に依頼する。 					記入例	
	項目	現在	1年目	2年目	3年目	4年目		
事業計画	売上高	50,000	60,000	58,000	60,000	60,000	65,000	
	経常利益	5,000	6,000	5,800	6,100	6,200	6,000	
会社	定款 株式 その他		相続人に対する 売り渡し請求の導入			他の親族から 金庫株取得		
現経営者	年齢	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	
	役職	代表取締役	➔			会長	相談役	引退
	関係者の理解	社内での 計画立案	社内への計画発表	対外的に後継者 として公表				
	後継者教育		経営者とコミュニケーションをとり、経営理念、ノウハウ、ネットワーク等の自社の強みを継承					➔
	株式・財産の分配		会社・個人の資産分離		公正証書・遺言作成			
	持株 (%)	70%	60%	50%	0%	0%	0%	
後継者	年齢	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	
	役職	取締役	専務		代表取締役			
	後継者教育	社内	工場	本社管理部門 営業部門				
		社外		外部の研修受講	経営革新塾	➔		
	持株 (%)	0%	10%	20%	70%	100%	100%	
			暦年贈与 (積年課税制度)		事業承継税制検討	納税猶予		
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目の贈与時に事業承継税制の活用を検討。 ・遺留分に配慮し遺言書を作成 (配偶者へは自宅不動産と現預金、次男・長女へは現預金を配分)。 ・一郎以外の株主 (次男・長女) の保有株式を金庫株取得することで均衡を図る。 							

【注意】計画の実行にあたっては、別途専門家と十分に協議した上で行ってください。

令和 年 月 日

本事業承継計画に合意します。

現代表者

住所

前橋市亀里町●●●-1

氏名
(自署)

赤城 太郎

印 不要

後継者

住所

前橋市大手町●●●-5

氏名
(自署)

赤城 一郎

印 不要